



注目ポイント

- ✓先週は、米国のトランプ次期大統領による保護主義的な政策が改めて警戒され、日経平均株価が大幅に下落する場面があった。一方、外為市場では、FRBの追加利下げ観測や日銀の追加利上げ観測が強まり、円買いドル売りが優勢となった。週末29日には一時1ドル=149円47銭と、10月下旬以来の円高ドル安水準を付けた。
- ✓今週は米国でISM製造業景気指数（2日）や雇用統計（6日）など重要な経済指標が相次いで発表される。市場はFRBの12月利下げをまだ十分に織り込んでおらず、米経済指標を受けて追加利下げの織り込みが進む可能性がある。外為市場では、日米金利差の縮小観測から、今週も円買いドル売り圧力が高まりやすい地合いが続くと予想される。（北田英治）

①マーケット動向(実績データ) 2024年11月25日 ~ 2024年11月29日

市場・指標			11月25日 ~ 11月29日		11月29日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	39,054	37,802	38,208	-76	-0.2%	
	米国	NYダウ (ドル)	45,071	44,385	44,911	+614	+1.4%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	19,640	19,145	19,626	+304	+1.6%	

市場・指標			11月25日 ~ 11月29日		11月29日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.080	1.045	1.050	-0.030	
	米国	10年 (%)	4.37	4.17	4.17	-0.23	
	ドイツ	10年 (%)	2.26	2.08	2.09	-0.15	

市場・指標			11月25日 ~ 11月29日		11月29日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		154.72	149.47	149.77	-5.01	
	ユーロ (円)		162.12	158.04	158.41	-2.83	
	豪ドル (円)		101.04	97.45	97.51	-3.10	

市場・指標			11月25日 ~ 11月29日		11月29日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート (ポイント)	1,695	1,662	1,662	-20	-1.2%	
	米国	NY原油 (ドル)	71.48	67.87	68.00	-3.2	-4.5%	
		NY金 (ドル)	2,748	2,630	2,681	-56	-2.1%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2024年12月2日 ~ 2024年12月6日



株式

上値の重い展開か

日経平均株価
【予想レンジ】 37,600 円 ~ 38,600 円

- 先週の日経平均株価は3週連続の下落。26日には、米国のトランプ次期大統領が中国やカナダ、メキシコに対して関税を強化すると表明したことを受けて、投資家の心理が悪化し、日本でも半導体や自動車など主力の輸出関連株を中心に売りが膨らんだ。また週後半は、為替レートの円高ドル安が嫌気されて、自動車株など輸出関連株が売りに押された。
- 今週の日経平均株価は、上値の重い展開か。今週は米国でISM製造業景気指数(2日)や雇用統計(6日)など重要な経済指標が相次いで発表される。米経済指標を受けてFRBの追加利下げの織り込みが進めば、円高ドル安圧力が強まりかねないだけに、株式市場では投資家の慎重姿勢が続くと予想される。

金利
(国債)

長期金利はやや低下か

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.010 % ~ 1.070 %

- 先週の長期金利は低下した。26日には、米国の財政膨張懸念の後退で前日の米長期金利が低下したことを受けて、日本の長期金利も低下した。また28日には、FRBが12月も利下げを続けるとの見方から前日の米長期金利が低下したことが国内金利にも低下圧力をかけた。
- 今週の長期金利はやや低下か。今週は米国で重要な経済指標が相次いで発表される。米債券市場がFRBの利下げを織り込む展開となれば、米長期金利の低下を通じて、日本の長期金利にも低下圧力がかかろう。ただ、日銀の追加利上げ観測もあるため、国内金利の低下余地は限定的と考えられる。国内では10年国債の入札(3日)と30年国債の入札(5日)が注目材料。

為替
(米ドル)

ドル円は円強含みでのみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 148.00 円 ~ 151.00 円

- 先週のドル円は、円高ドル安が進展。26日にFRBが公表したFOMCの議事要旨や、27日の10月の米PCE物価指数などを受けて、FRBが12月に追加利下げをするとの観測が強まり、ドル売りが優勢となった。また29日には、11月の東京都都区部CPIが市場予想を上回ったことを受けて日銀の利上げ観測が強まり、円買いの動きが広がった。一時1ドル=149円47銭と、円が約1か月ぶりの高値を更新する場面もあった。
- 今週のドル円は、円強含みでのみ合いか。市場はFRBの12月利下げをまだ十分に織り込んでおらず、米経済指標を受けて追加利下げの織り込みが進む可能性がある。日銀の早期利上げ観測も高まっており、今週も日米金利差の縮小観測から円買いドル売り圧力が高まりやすい地合いが続くと予想される。



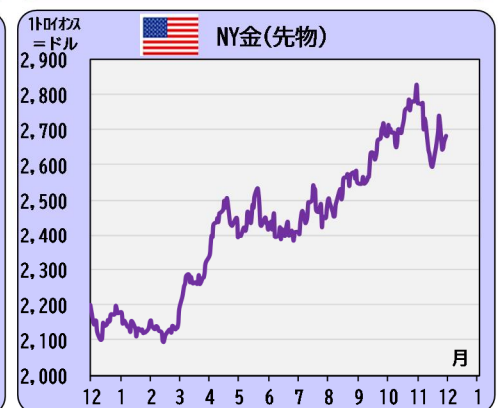
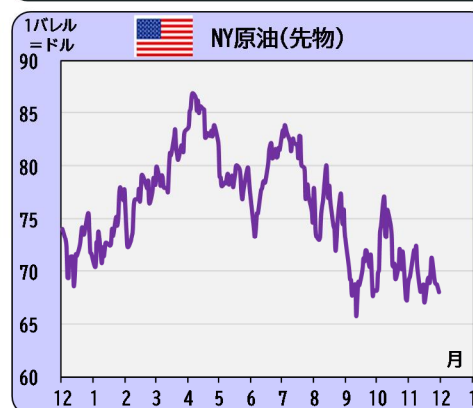
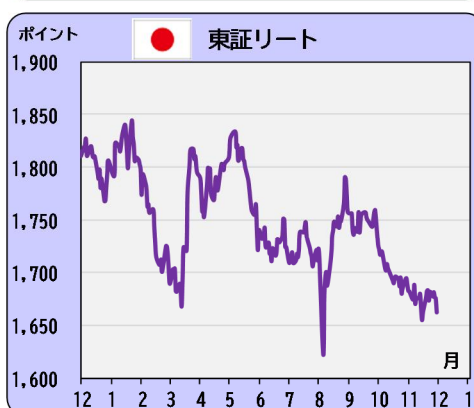
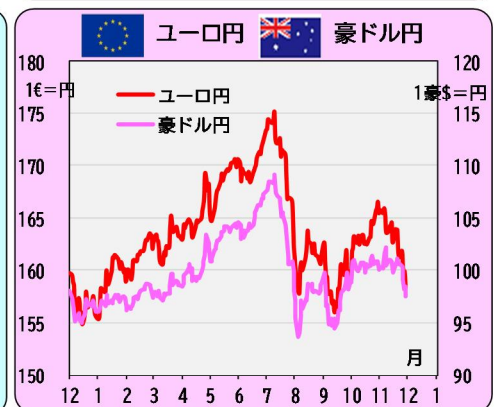
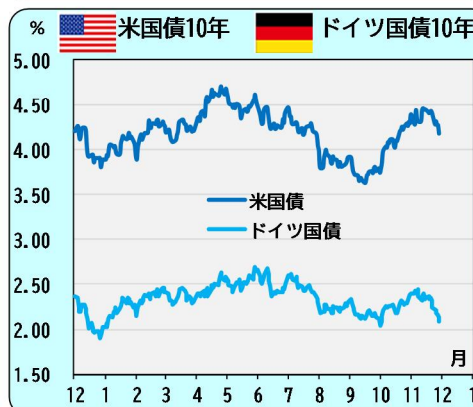
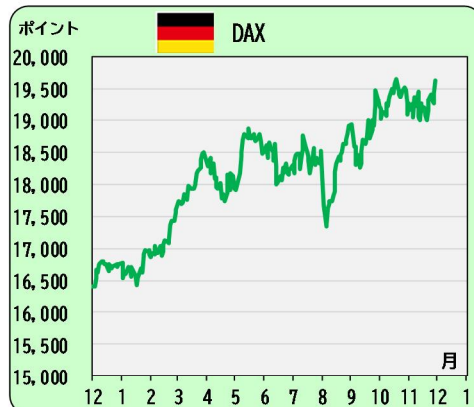
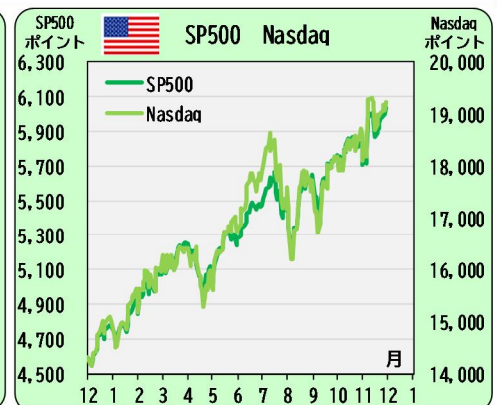
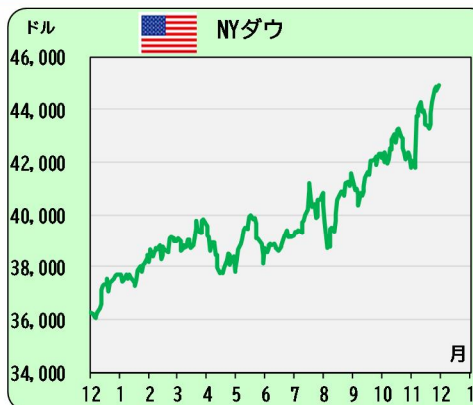
○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
12/2(月)	法人企業統計(7~9月)	米国: ISM製造業景況指数(11月)
12/3(火)	国債入札(10年)	
12/4(水)		米国: ISM非製造業景況指数(11月) 米国: 地区連銀経済報告(ページブック)
12/5(木)	国債入札(30年)	米国: 貿易収支(10月)
12/6(金)	毎月勤労統計(10月) 家計調査(10月) 景気動向指数(10月)	米国: 雇用統計(11月) 米国: 消費者信用残高(10月) 米国: ミシガン大学消費者態度指数(12月)速報値



③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターミディエート(原油)
FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率	YCC	イールドカーブコントロール

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。